Post Graduate Course

愛知学院大学歯学部同窓会
平成２８年度　ポストグラデュエートコースのご案内

●申し込み、講演・実習の事前質問をホームページで受け付けております。
●ホームページ　www.aichigakuin-pgc.com

今年度のテーマ:「健口長寿へのセオリー」

1	半日 講　演	平成28年 6月12日(日) 9:30～13:00	演　題「歯科医療と関連した医学知識」 ー循環器専門医が語る心疾患治療の現状とポイントー 講　師　石木　良治(トヨタ記念病院 内科 科部長)
2	半日 講　演	平成28年 7月3日(日) 9:30～13:00	演　題「スタートアップ補綴歯科臨床！！卒後 若手歯科医師へ向けてのメッセージ」 ー明日からの臨床へのヒント、押さえておきたいポイントー 講　師　武部　純(愛知学院大学歯学部 有床義歯学講座 教授)
3	一日 講　演	平成28年 8月28日(日) 9:30～17:00	演　題「歯周治療 そうすれば良かったんだ！」 ー様々な骨欠損形態に応じた軟・硬組織マネージメントの実際ー 講　師　三谷　章雄(愛知学院大学歯学部 歯周病学講座 教授) 講　師　北島　一(静岡県開業)
4	一日 講　演	平成28年 9月11日(日) 9:30～17:00	演　題「専門的口腔ケアと摂食嚥下の本質を学ぶ」 講　師　角　保徳(国立長寿医療研究センター 歯科口腔外科 医長 歯科口腔先進医療開発センター センター長) 講　師　植田　耕一郎(日本大学歯学部 摂食機能療法教室 教授)
5	実　習	平成28年 10月　9日(日) 10月10日(祝) 9:30～17:00	演　題「信頼されるインプラント治療を目指して」 ー成功するための要件(ベーシックからアドバンスまで)ー 講　師　野原　栄二．牧野　真也．本多　隆保(P.G.C.実行委員)
6	一日 講　演	平成28年 11月6日(日) 9:30～17:00	演　題「満足の得られる咀嚼を目指して」 ー咀嚼と咬合の真実ー 講　師　丸茂　義二(日本歯科大学 名誉教授)
7	半日 講　演	平成28年 11月20日(日) 9:30～13:00	〈ドクターと衛生士のコース〉 演　題「次世代型歯科医院への期待」 ー歯科医院が変われば地域医療が変わるー 講　師　田中　健児(有限会社Willmake 143 代表取締役)
8	一日 講　演	平成28年 12月11日(日) 9:30～17:00	演　題「超勉強法！矯正治療のスタートライン」 ー明日からはじめる矯正治療(初級編)ー 講　師　後藤　滋巳(愛知学院大学歯学部 矯正学講座 教授)
無料 講　演		平成29年 3月12日(日) 9:30～17:00	〈同窓会本部主催　-全ての歯科医療関係者・特に若き歯科医へ-〉 演　題「歯科臨床40年の軌跡」 ー長期経過症例から何を学ぶかー 講　師　斉藤　佳雄(愛知県開業)

(敬称略)

※　演題はあくまで現時点での仮題です。平成28年4月以降のホームページの演題を正式演題とさせていただきます。
※　受講申し込みは平成28年4月1日よりホームページにて受け付けます。
※　なお、大学行事と重なる場合は日程・場所の変更をさせて頂く事があります。その際はホームページにてご確認ください。

無料講演

歯科臨床40年の軌跡
－長期経過症例から何を学ぶか－

平成29年3月12日(日) 9：30～17：00

日歯生涯研修コード：2399

講師

斉藤佳雄氏（さいとうよしお）

（愛知県開業）

略歴

昭和47年 3月　愛知学院大学歯学部歯学科　卒業
歯科補綴賞［BIO-BLEND賞］受賞
昭和47年 4月　愛知学院大学歯学部 第一口腔外科　入局　助手
昭和50年11月　名古屋市千種区にて開業
昭和59年 4月　名古屋市千種区歯科医師会　理事
副会長
平成 2年 1月　歯学博士　学位取得（歯乙第180号）
『低タンパク血漿のラット頭蓋骨及び歯の発育に及ぼす影響』
平成 3年 4月　愛知学院大学歯学部同窓会　常務理事
副会長
平成 5年 4月　愛知学院大学歯学部同窓会　ポストグラデュエートコース実行委員長
平成 6年 4月　愛知県歯科医師会　学術部　次長
調査室　次長
選挙管理委員会　委員長
平成15年 4月　日本歯科医師会　学術・生涯研修委員会　委員
平成17年 4月　愛知県国保連合会　審査委員
愛知県歯科医師国保組合　副理事長
愛知県歯科医師会　会務運営委員会　委員長
平成20年 6月　愛知県歯科医師会　会館建設検討委員会　副委員長
平成21年 4月　愛知県歯科医師国保組合　理事長　Ⅰ期
平成22年 7月　全国歯科医師国民健康保険組合連合会（全歯連）　特定歯科検診　検討委員会　委員
平成23年 4月　愛知県歯科医師国保組合　理事長　Ⅱ期
全国国民健康保険組合協会（全協）常務理事
全国国民健康保険組合協会（全協）中部支部　支部長
平成25年 4月　愛知県歯科医師国保組合　理事長　Ⅲ期
愛知県国保連合会　専任審査委員
愛知学院大学歯学部同窓会　相談役

若き歯科医へ

5年後、10年後に、この症例がどのような結果になっているだろうかというようなことは、考えてもいなかった。毎日が、目の前の症例に、今持てるだけのわずかな知識と技術を総動員しての日々で、診療後は、インレー、クラウン、ブリッジ、焼付にまでも取り組んで、地下鉄の最終便に間に合わない日々を過ごしていた。

開業後の数年は、自分の大切な場としての診療室が生活のすべてで、家庭も子供も省みることなく、それでも熱い充実した時期であったと思っている。

限られた、歯科医としての人生が、平均的には40年とするならば、今、どのあたりを走っているかという時間の流れの中で、自らの生き方をとらえてみると興味深い。

人生には、人それぞれにさまざまな生き方がある。私たちは歯科医として、どのような人生の道を進んでいくのだろうか。ふと気がつくと、何も考えずに過ごしてしまった刻（とき）の長さに、心を痛めている。

これから続く若き歯科医の皆さんは、熱き、情熱に満ちた時間を、出来るだけ長く、多く体験していただきたいと思っている。

今回は、開業初期の臨床例の中から、天然歯をどこまで保存できるか、歯を抜かず、削らず、歯の神経を守る歯科医療について、出来るだけ長期の経過症例についてご報告させていただきます。

講演内容の項目

1. 歯を守る歯科医療（Ⅰ）
   - 歯科医療と全身疾患との関わり
   - 最小の治療行為で最大の効果を
   - Brushingの威力
   - 一本の歯を守る・天然歯ponticの臨床応用
2. 歯髄を守る－歯質・歯髄の保存
   - 歯髄保存の限界（診査・診断を含めて）
   - 歯髄保護の術式（抗菌的歯髄保存療法）深いカリエスから歯髄を守る（無麻酔）
   - 生活歯の修復法（歯髄を守るために、生活歯の切削を最小限におさえる）
   - 天然歯（抜去歯）応用ポンティック
3. 私の臨床ノートから
   - 自己研鑽
   - 自らの症例の中から骨の再生を知る
   - provitional restration
   - いろいろなEndoを試みた中から－長期の臨床例40年間の経過－
   - コーヌスクローネの臨床応用
4. 歯を守る歯科医療（Ⅱ）
   - 歯根挺出法(矯正的･外科的･自然挺出法)
   - 破折歯根の接着再殖保存法
   - 外傷歯冠破折露髄歯の歯髄保存
   - 人に自然は造れない・自然は天然歯
5. 総合臨床を語る
   －Endo・perioから矯正・挺出・移植・補綴治療を含む総合臨床症例－

参考文献

1. 斉藤佳雄：若き歯科医へ21世紀の歯学〈その14〉
   歯科人生をどう切り開くか。
   日本歯科評論　No605：P101-116、1994
2. 斉藤佳雄；破折歯根への対応
   skill up of Dental Practice 1.
   歯を守る、P178-183、P192-197
   医歯薬出版、東京、2002.
3. 斉藤佳雄；深いカリエス－歯髄を守る－；
   臨床歯科医のステップアップ研修（1）
   リスクを持つ歯へのアプローチ
   宮地建夫編、P1～P18
   ヒョーロン・パブリッシャーズ、東京、2005.